

平成29年度 第8回高山市教育委員会定例会議事録

1. 日 時 平成29年9月21日（木） 午後1時30分から
2. 場 所 高山市役所 中会議室
3. 出席者 委員会 中野谷教育長、針山委員、打江委員、岡田委員、野崎委員、長瀬委員
事務局 中井文化財課長、瓜田学校給食センター所長、学校教育課 宮川、井添、教育
総務課 直井
4. 欠席者 委員会 欠席なし
5. 署名者 針山委員

午後1時30分開会

○中野谷教育長 本日の委員会は、出席者6名で、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定に基づき、定足数に達していますので、成立しております。ただ今から、平成29年度第8回高山市教育委員会定例会を開会いたします。

○中野谷教育長 会議録署名委員の指名を行います。
本日の会議録署名委員は、「針山委員」を指名いたします。

○中野谷教育長 前回定例会の会議録について承認を行います。
まず、前回定例会の会議録について「長瀬委員」お願いいたします。

○長瀬委員 前回の定例会会議録について、精査した結果、記載事項について適正に調製されておりましたので、署名したことをご報告いたします。

○中野谷教育長 ありがとうございます。
それでは、前回定例会の会議録についてご承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

○中野谷教育長 前回、定例会の会議録は、調製のとおり承認されました。

○中野谷教育長 次に、諸般の報告をさせていただきます。

(中野谷教育長報告)

○中野谷教育長 それでは次に日程第1、報告29「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について」を議題といたしますが、当議題につきましては、高山市情報公開条例第6条第5項に該当するものとして、報告内容について一部公開しないこととしたいと思います。

○中野谷教育長　それでは、ただ今お諮りしました報告29は、一部公開しないこととすることにご異議ございませんか。

(異議なし)

○中野谷教育長　ご異議なしと認めます。よって、報告29は、一部公開しないことに決しました。

○中野谷教育長　それでは、改めまして日程第1、報告29「平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について」を事務局より報告願います。

○学校教育課井添　＜資料に基づき説明＞非公開

○中野谷教育長　事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○長瀬委員　最初に全国或いは前回の結果に対して改善されている部分については学校の努力を評価いただきたいと思います。

2点ありますが、1点目としては学力・学習状況調査の目的には実態把握、分析、検証、改善の一連の流れがあると考えます。今の説明を聞くと実態把握と分析は行えていると思いますが、その後の対応について検証し実践しないと次には繋がらないので、この調査結果が活かされるようお願いします。

2点目は、全国平均と比べて高い低いとの説明がありましたが、高山市の教育として目指すべき目標はそうではないと思います。比較方法としてそのような見方は確かにあると思いますが、今回の結果をもとに高山市と比べて好結果を残している市町村等がどのような教育を展開しているのか、どのような取り組みをしているのかを知り高山市の教育を改善していく機会としても活用してほしいと思います。

○針山委員　前回までの調査でも小学校はやや低調な結果ですが中学校で伸びるような傾向にあり、今回の調査でも一部にそのような傾向が見受けられました。結果に対しては小学校の教育に改善の余地があるとの考え方もありますが、一方では小学校で培った基礎学力が中学校で花開いたと言えますし、欲を言えば更に高校で実を結ぶのが理想の姿でもあります。この辺りの傾向について分析しているものがあればお願いします。

○学校教育課井添　個人的な考えですので分析とまではいきませんが、小学校では基本的な学習姿勢を身につけるため自分で計画をたて勉強することに取り組むことにより、中学校においては計画をたてずとも今の自分に必要なものは何なのかを判断し学習する力が備わっていきます。小学校では基礎的な部分の構築に力を入れているため、結果としてはすぐ表れてはいませんが、中学校の段階でその成果が表れ学力の向上に繋がっているのだと考えています。

- 針山委員 考え方の一つとして非常に重要だと思います。区切り区切りでの捉え方もありますが、より長いスパンで考え着実に力を養うことにより最終的な結果として学力向上を図るのは大切なことだと考えます。
- 野崎委員 1日当たりのゲームやテレビに費やす時間が多い児童生徒は学力が低調であるとの説明がありましたが、学習時間は当然ですが睡眠時間にも大きく影響していると思います。この結果を有効に活用する必要があると考えていますが、子ども達がゲームやテレビを行なう時間と睡眠時間の関係を分析し眠育に活かしていくような予定はありますか。
- 中野谷教育長 次の議事にも関連がありますので、後ほど説明とさせていただきますのでよろしくをお願いします。
- 岡田委員 このような調査に対して保護者の立場からすると、つつい学力の結果ばかりに目がいきがちですが、説明を聞くと家庭における日常生活が大きく影響していることを改めて感じます。各学校ではこの結果を通信などでお知らせいただき、そのことも分析されている訳ですが、今後は眠育を学ぶ機会も増えていくと思いますので、今回のような説明を保護者にもしていただけると、日常生活と学力の関係について改めて理解し家庭での生活を見直す機会になると感じました。
- 打江委員 学校訪問においても子ども達はただ授業を聞いているだけではなく、考える場面が多く設けられ、クラスの人意見聞いて自分の考えと比較しながら発言していくことの成果が表れているのだと感じます。考えるということは小中学校だけではなく、これからの時代は社会に出てからも求められるようになる大事なことだと思います。また、多くの子ども達が将来に夢や希望を持って学校に通っているとの回答は喜ばしい結果でしたし、各委員も発言されたように家庭生活と学力の関係は重要な問題だと思いますので、この関係が各家庭にしっかり伝わる取り組みをお願いします。
- 長瀬委員 個に応じた学習ということがありますが、少人数で全体に目が届きやすい小規模校と人数が多い大規模校の間には何か傾向のようなものはありますか。
- 学校教育課井添 これも個人的な分析にはなりますが、学力の点でいいますと小規模校は児童生徒数が少なく分母が小さいので年度により変動しやすいという特徴があります。大規模校は人数が多いため毎年の変動は少なくなりますので端的な比較は難しいですが、平均すると小規模校の方はより個に応じた学習に取り組みやすく個々の基礎学力が身につけていると考えています。
- 中野谷教育長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑を終結いたします。

- 中野谷教育長 次に、日程第2、協議8「教育委員からの提案に対する方向性について」を議題といたします。
事務局より説明願います。
- 学校教育課宮川 <資料に基づき説明>
- 中野谷教育長 事務局の説明は終わりました。ご質疑はございませんか。
- 野崎委員 中山中学校における眠育の取り組みは素晴らしいと思いました。問題のあるケースとして男女比などの傾向はありますか。
- 学校教育課宮川 中学校の女子においては、LINEなどSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）に費やす時間が増え睡眠時間に影響を与えている傾向にありました。男子の場合ですとYouTubeなどの動画共有サイトでアニメ等を視聴し睡眠時間が減少している傾向にありました。
- 長瀬委員 先程の議事にも関連しますが、得られた調査結果をどのように活かすかが大切だと思います。実態が得られたことは重要なことであり、例えば生活習慣の改善が必要な生徒には原因が何でそれを改善していくには何が必要なのかを整理し対応していけるようお願いします。
- 学校教育課宮川 中学校においては睡眠に限らず自己管理能力を養うことが必要と捉えています。先ほど野崎委員からも質問がありましたが、これらの結果について分析し生徒等に対する講演会や学習会を通して危険性を訴えていく方法が考えられますが、それだけでは生徒一人ひとりがその重要性を感じ生活習慣を見直すことは実際には難しい部分も多いと思います。全体啓発にあわせ教師が生徒の様子を観察しながら必要に応じ個別面談などを実施し改善に向け努力する必要もあると考え各学校への指導を行っていく予定です。
- 長瀬委員 考え方として学習指導の切り口があると思います。学校が楽しいことの要素の一つとして、授業内容が理解できることがあげられます。私の経験からは授業が理解できないから授業中に雑談をしたり、寝てしまう子どもが多く見られました。テレビやスマートフォンにより睡眠時間が減少するのはその魅力や誘惑もあると思いますが、勉強が苦手な理解できないから面白くないということも多分にあると考えます。そのような背景からも眠育と学習指導は接点が大きいですと考えますので、そのような視点に立った指導の検討もお願いします。
- 打江委員 好奇心旺盛な思春期の子ども達に睡眠時間をとるように何度も話してもなかなか改善できないように思います。睡眠時間が減ることはどんな危険性があるのか分か

りやすい根拠をしっかりと示し説明する必要があるのだと思います。眠育も自己管理能力を養うことの一つで、今後、社会に出ていくためには自分を管理していく能力が求められますので、眠育を通してそのような力を身につけてほしいとの願いもあると思います。

○中野谷教育長 眠育に限らず各委員からどれも重要な提言をいただいているところですが、実際の学校現場の対応も考えると本年度の方向性に書かれているように、教育大綱に基づき他の業務と優先順位をつけながら対応していくことも必要と捉えています。全てのことを同時に進行していくには学校や子ども達にも無理が生じますので、教育の方針と重点を検討・協議する中で各年度における取り組みを整理しながらすすめたいと考えていますのでよろしくお願いします。

○針山委員 各委員からの提案状況と本年度の方向性について整理いただきありがとうございます。沢山の課題を抱える中で交通整理も必要ですし、他課との連携や予算確保も必要なことであると思います。私が提案した子どもの居場所づくりについては、ここに書かれている内容もそうですが、やはり不登校の児童生徒に対する対策がさらに充実できればと考えているところです。

○中野谷教育長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑を終結します。

○中野谷教育長 それでは、ただ今議題となっております協議8については、説明のとおり決することにご異議ございませんか。

(異議なし)

○中野谷教育長 ご異議なしと認めます。よって、協議8について、事務局説明のとおり決しました。

○中野谷教育長 次に日程第3、報告30「前期・後期制にかかる保護者等との意見交換会について」を事務局より報告願います。

○学校教育課宮川 <資料に基づき説明>

○中野谷教育長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。

○針山委員 前回定例会までに協議していますので、計画に沿って十分な意見交換をお願いします。

○中野谷教育長 意見交換会においては、不安に思っていることや疑問に思っていることに対して丁寧な説明を行うよう努めており、二学期の後半には各学校で再度会合を行い意見

集約していく予定です。

- 中野谷教育長 ご質疑も尽きたようでありますから、以上で質疑を終結いたします。
- 中野谷教育長 次に「後援名義使用について」の報告をお願いします。
- 教育総務課直井 <資料に基づき説明>
- 中野谷教育長 事務局の報告は終わりました。ご質疑等はございませんか。
- 中野谷教育長 ご質疑もないようでありますから。以上で質疑等を終結します。
その他に報告がありましたら順次報告願います。
- 中井文化財課長 <飛騨高山まちの博物館 秋季特別展について説明>
- 長瀬委員 <学校給食の完食率について質問>
- 瓜田学校給食センター所長 <学校給食の完食率の把握状況について説明>
- 教育総務課直井 <台風18号に伴う学校施設の被害状況について報告>
- 中野谷教育長 それでは以上を持ちまして、本日の議事日程が全部終了いたしましたので、本日の会議を閉じ、平成29年度第8回高山市教育委員会を閉会いたします。

午後3時00分閉会